

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	園芸学専攻		
科目名称 [英語名称]	西洋庭園学特論 I [Special Lecture on Western gardenn 1]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	642461	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1 年次
教員氏名	平岡 直樹			学位授与の方針 との関連	修士課程DP1		
授業概要	<p>本授業の目的は、まず西洋庭園とはどんなものかを把握することです。世界には6つの主要な庭園様式があります。それは、中国庭園(神秘的風景式)、日本庭園(象徴的縮景式)、イスラム式庭園(四分割式)、イタリア式庭園(露壇(テラス)式)、フランス式庭園(平面幾何学式)、イギリス式庭園(写実風景式)です。それらとの比較を通じて、西洋庭園の特徴を明確化します。</p> <p>次に、西洋庭園に関係する用語、構成要素などの基礎知識を学びます。</p>						
関連する科目	<p>大学院の授業である東洋庭園学特論 I、近代庭園学特論 I などを受講することが望ましい。履修後は、西洋庭園学特論 II を履修することが望ましい。</p>						
授業の進め方と方法	<p>配布資料等で西洋庭園にかかわる基本概念や基本知識を再確認します。必要に応じて学外に実際の庭園を視察し、計測や評価を行います。データ等は持ち帰り整理、解析等を行います。ほとんどの授業にてテーマに沿って、調査や取りまとめた課題を報告し、意見交換をする、または学外にて調査を行うなどアクティブラーニング型の授業を行います。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 世界の庭園様式を考察 2 中国庭園 神秘的風景式の特徴を考察 3 日本庭園 象徴的縮景式の特徴を考察 4 イスラム式庭園 四分割式の特徴を考察 5 イタリア式庭園 露壇(テラス)式の特徴を考察 6 フランス式庭園 平面幾何学式の特徴を考察 7 イギリス式庭園 写実風景式の特徴を考察 8 西洋庭園の歴史 歴史的な変遷を広く考察 9 西洋庭園の作庭理念と社会 造園と社会経済とのかかわりを考察 10 西洋庭園の構成要素 イタリア式庭園を中心に構成要素を考察 11 西洋庭園の構成要素 フランス式庭園を中心に構成要素を考察 12 西洋庭園の構成要素 イギリス式庭園を中心に構成要素を考察 13 西洋庭園の構成要素 その他の様式の構成要素を考察 14 世界の西洋庭園 世界に広がった西洋庭園様式を考察 15 西洋庭園の現在 西洋庭園の維持管理に関わる現状と課題を考察 						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 授業を通じて、西洋庭園についての幅広い知識を身に付けます。 2) 西洋庭園の歴史について知識を身につけます。 3) 西洋庭園の作庭技術について詳しくなります。 						
授業時間外の学修	<p>第1回目の授業で示す参考図書など、主に基礎的な西洋庭園に関する資料を授業前に読んでおいてください。授業後に理解が曖昧な時は再度精読してください。また、庭園についての知見を深め、世界の庭園の理念や技術の違いを理解するために、身近な庭園や公園等に赴き、その成り立ちや構成、構成要素などについて考察を深めておいてください。予習復習4時間程度必要です。</p>						
課題に対する フィードバック	課題等は確認した後に返却します。必要に応じてコメントします。			評価方法	受講態度や発表、報告物に関して、課題の理解、関係資料の活用、論点の整理、独自の視点、プレゼンテーションなどについて総合評価する。		
テキスト	関連書籍及び関連論文						
参考書	<p>授業において提示します。主なものを以下に挙げておきます。 ①『ヨーロッパ庭園物語』ガブリエーレ・ヴァン・ズイレン著、創元社、1999 ②『庭園の世界史』ジャック・ブノア＝メジャン、講談社学術文庫、1998 ③『世界の庭園歴史図鑑』ペネロピ・ボブハウス、原書房、2014</p>						
備考							